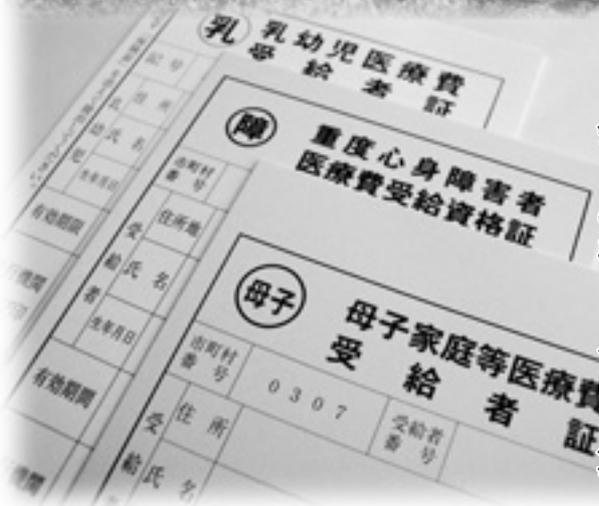


# 特集 財政公表 平成15年度の決算状況



市の平成15年度予算は、3月31日をもって会計年度を終了しました。

しかし、現金の未収や未払いを整理するため出納整理期間が設けられており、最終的に平成16年5月31日をもって閉鎖されました。

今後は、監査委員や議会の決算審査特別委員会で、さまざまな角度から審査されることとなります。

今月号では、グラフや表を使いながら、決算を通して市の財政状況をお知らせします。

【表1】平成15年度決算額

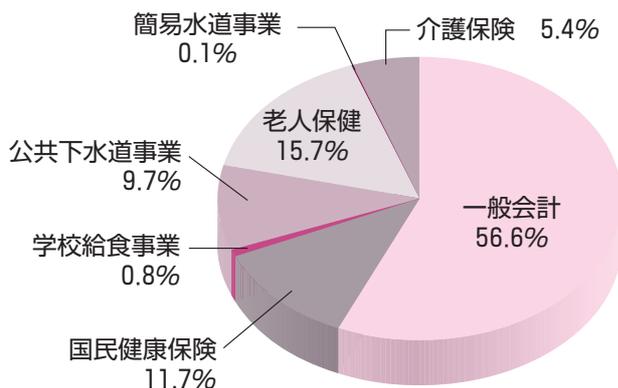
会計区分	歳入	歳出	差引額	
一般会計	245億2,464万円	240億4,963万円	4億7,501万円	
特別会計	国民健康保険	54億7,530万円	49億6,852万円	5億 678万円
	学校給食事業	3億4,175万円	3億4,175万円	0万円
	公共下水道事業	41億2,175万円	41億2,136万円	39万円
	老人保健	66億3,566万円	66億7,356万円	△ 3,790万円
	簡易水道事業	4,724万円	4,724万円	0万円
	介護保険	23億7,791万円	23億 171万円	7,620万円

## ◎決算

市の財政は、一般会計のほか、6特別会計（国民健康保険、学校給食事業、公共下水道事業、老人保健、簡易水道事業、介護保険）、1企業会計（水道事業）で運営しています。決算状況（【表1】参照）を見ると、老人保健特別会計が3千790万円の赤字となっています。老人医療費は、自己負担分を除いて、各保険者（国民健康保険など）が拠出する支払基金と国・道・市が割合を決めて

## 15年度の決算と収支 前後の年度との関係

【グラフ1】平成15年度各会計歳出全体に占める割合



負担することになっていますが、そのうち、支払基金からの交付金や国・道の負担金が概算（見込み）で交付されるため、医療費が予想以上に伸びた結果、本来交付されるべき金額より少なくなったもので、不足額は16年度に入ってくる予定です。学校給食事業特別会計と簡易水道事業特別会計は、歳入歳出が同額です。一般会計と国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、それに公共下水道事業特別会計は黒字となっています。この黒字額は、16年度に繰り越されることとなります。